

剣風



事務局 〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和5-6-5
浦和合同庁舎 4 階
Tel (048)834-8869
Fax (048)834-8879
<https://www.saitama-kendo.or.jp>
(編集責任者 佐藤義則)

第22号 令和6(2024)年9月1日発行

(題字 元会長 野澤 治雄)

全日本都道府県対抗剣道優勝大会男女準優勝

素晴らしい快挙を成し遂げた、男女団体の監督から喜びの声を頂きました。

チームワークで掴んだ準優勝

男子監督 田中 宏明

令和6年4月29日、大阪府立体育館において開催されました第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会において埼玉県が見事準優勝に輝きました。チームは初出場の選手が多く、更に20代の選手3名と高校大学生という、まさに若いチームであり、見方によっては若い故にやや頼りなくも見えてましたが、経験豊富な副将大将の下、実に伸び伸びとそして明るく、各年代層の垣根もなく、お互いに話し合ったり情報を交換したりして、そのことで強化を重ねるごとに皆が確実に成長し、最終的に素晴らしいチームワークが形成されていきました。大会では、先鋒から副将までそれぞれが自分の役目を自覚し、苦しみながらも諦めることなくすべての試合を大将戦に持ち込み、最後は厳しい大将戦を見事に制して勝利するという素晴らしい試合を展開してくれました。改めて選手の皆さんの積み上げられた技術と精神力に心からの敬意を表するものです。



更に、本大会のみならず、ここ数年、埼玉県として選手強化を図られてきたことが、去年の女子都道府県対抗優勝を始め、その努力が着実に実を結んできた証左であると確信するものです。末尾となりましたが剣道連盟の先生方、関係各位の皆様、そして特にきめ細かなご支援を頂きました事務局の皆さんに対し、選手の皆さんと共に心より感謝申し上げ報告とさせていただきます。

第16回全日本都道府県対抗女子剣道大会準優勝

女子監督 堀川 智子

去る7月15日、日本武道館において、大会初の連覇、3度目の優勝を目指しました。決勝進出、埼玉3(3)対3(4)東京と熱戦を繰り広げ、見事準優勝に輝きました。

本大会に向け、強化委員の先生方からの熱の入った稽古で貴重なご指導をいただきました。また、大会前最後の久喜高校での強化練習では、多くの強化指定選手が参加する中、とても明るく活気ある稽古となり、結束力も高まり本大会に向けた選手の士気も一段と上がりました。本大会を振りかえりますと1回戦シード、2回戦、埼玉2(3)対0香川、初戦でもあり、双方の選手とも硬さが見られたが、確実に機会をとらえて勝利。3回戦、埼玉4(6)対1(2)鹿児島、4回戦、4(6)対1(2)佐賀、今年の国民スポーツ(国体)大会開催県でもあり、厳しい戦いを予想していた。準決勝、埼玉3(4)対1(2)京都(昨年も対戦)勢いで相手を圧勝、決勝へと進んだ。



本県チームは、試合内容、強さと称賛に値する素晴らしい成績であったと思います。各選手の持ち味を存分に発揮する躍動する姿、特に、中堅：志藤綾子(伊田テクノス)選手が決勝戦以外すべて2本勝ち、圧巻の大活躍でした。

結びに、会場に駆けつけていただきました埼玉県剣道連盟会長をはじめ役員、ご家族、各職場、剣友、高校生の皆様の大きな力強い応援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

範士受称にあたって

行田剣道連盟 大澤 規男



令和6年度の剣道称号審査において、剣道範士の称号を受称させていただきました。これも偏に、栗原会長をはじめ埼玉県剣道連盟の皆様、諸先生方、諸先輩剣友の皆様のご支援のお陰と心より厚く御礼申し上げます。

範士合格の知らせを聞いたのは、自宅で翌日の仕事の準備をしている時でした。自分でも全日本剣道連盟の正式な発表を確認していると、県内外の多くの先生方から、祝福のメッセージをいただきました。その祝福を受ける度に「今の自分でいいのか」と嬉しさより戸惑いで複雑な気持ちになり、整理が中々できないでいました。そんな複雑な思いで過ごしている時、ふと剣道を始めた小学5年生の時から現在に至るまでの約53年間の剣道人生が思い出されました。興味本位で始めた剣道が、厳しく辛い道のりであったこと、人生までも導いてくれた恩師のこと、いつも支えてくれた家族、そして今は亡き両親のこと、剣道、いや人生も捨てそうになったこと、と色々な場面が不思議に頭の中をよぎりました。

剣道人生を振り返った時、この範士の称号は、これまで育ててくれた大勢の方々の魂が結果として現れたものではないかなと感じているところであります。

今後は、「無為自然」の心持ちで、称号に恥じないよう一層剣道修練に努め、斯道発展のため精一杯取り組み所存であります。何卒、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

杖道八段昇段にあたって

松本 保典



去る5月3日、京都における全日本剣道連盟杖道審査会におきまして八段に昇段させていただきました。昇段にあたりましては、埼玉県剣道連盟杖道部会の上田先生（教士八段）瀧澤先生（部会長）を始め諸先生方のご指導の賜物と誌面をお借りして感謝申し上げます。

私の昇段審査に臨む心構えを記したいと思います。まず稽古会は積極的に参加すること。いわゆる出稽古として捉え、機会を逃さず広域合同稽古会に参加しました。そこで指導に当たられた先生のご指摘は何故か新鮮に感じられるのが不思議です。（既に、以前から他の先生から指導されたにも拘わらず）同じことを複数の先生方に指摘されることは自分の悪い「癖」になっていて、いかに正しく体得すべきか？工夫してみたところ「基本技」にあることの気づきがありました。そこで基本を大切に反復稽古してきました。

次に心がけたのが、できるだけ数多くの大会に参加することです。元来小心者の私は、人前に出ることが不得手で極度に緊張してしまうのです。演武に集中させるために、場を踏む稽古として（場に慣れるように）とりわけ大きな大会である全日本杖道大会に参加しました。それでも、普段稽古している気持ちでいられないのが人間ではないかと言いつつ、覚悟しています。

更に、講習会における心構えとして、他の方への指導指摘は自分との指摘事項とあてはめて自己確認しながら、見取り稽古・聞き取り稽古に努めました。

そして、対峙したら相手から眼を離さぬこと、どうしても打突部位を確認するかのようには眼が行ってしまいます。その為に姿勢が悪くなる、間合いが悪くなるような問題が生じてしまいます。次に、残心は熟練度を示す如く静かにそして油断なく納の動作を心がけました。

それでも、審査日が近づくにつれて不安が募りましたので、不安を解消するために「単独稽古」「基本稽古」で自分の落ち入りやすいところを確認修正したりしました。

以上、私なりの心構えを記させていただきました。少しでも参考になるようなことがありましたら幸いです。

最後に、斯道発展の為、また埼玉県剣道連盟の発展に微力ながら尽力してまいりたいと存じます。

第1回 彩の国女子剣道稽古会

女子委員会委員長 佐藤 理恵

令和6年6月8日（土）北本解脱錬心館において、第1回「彩の国女子剣道稽古会」～みんなで楽しく健やかに～が、埼玉県剣道連盟栗原憲一会長ほかご臨席の元開催されました。幸いに天候にも恵まれ119名と多数の参加を頂き活気に満ちた有益な稽古会となりました。

この稽古会は、埼玉県女子剣道の更なる普及と発展を目的として、剣道連盟のご指導の下結成された「女子準備委員会」が企画・運営にあたりました。まずは誰でもが参加でき、他の地区の人とも交流できる稽古会を行おうと準備を進めました。

①幅広い段位・年齢の方が参加されることから、安全面を考え二段以下は黄色、70歳以上と故障のある方は赤色の目印を名札につけて皆さんに配慮してもらうようお願いをする。

②人数が多いため回り稽古は五段以下と六・七段に分けて行う。休憩・水分補給について多めにとる。

③各々委員の動きや担当を決める。

等々委員の皆さんから様々な意見が出されました。全員が臨機応変に全体を見て動くことを周知徹底しました。

稽古内容は、準備運動、素振り、基本練習、回り稽古、自由稽古、整理運動まで全員が真剣に取り組む姿勢は壮観でした。正に埼玉県剣道女子一丸となった稽古会になりました。「旧知の友人と久しぶりに再会できた」「様々な世代の方と交剣知愛の場に感謝します」「沢山の女性剣士に刺激をもらい目標ができました」など多くの参加者の方から好評をいただき、今後の期待も強いようです。第1回の稽古会は盛会のうちに無事終了しました。埼玉県剣道連盟役員の皆様、会場を提供いただいた北本解脱錬心館の皆様を始めとして、多くの方々のご協力に深く感謝しております。次回も多くの方に参加いただき、有意義な会になりますよう準備を進めたいと思います。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

※第2回彩の国女子剣道稽古会は 令和6年11月30日（会場未定）開催

【女子委員会】 浅見 雅代（理事） 岩田 香織（北部） 内野 尚美（西部）
金子優香里（理事） 佐藤 理恵（理事） 堀川 智子（東部）
渡邊 衣里（南部） 事務局 石田 幸代





埼玉県剣道連盟理事 小坂井 啓二



【フェルナンド・ベナビデス氏】

エクアドル剣道連盟会長 フェルナンド・ベナビデス氏(剣道5段・70歳)が在エクアドル日本国大使館の推薦により天皇陛下から「旭日双光章」を授与されたという記事が月刊剣窓9月号(令和5年9月1日発行)に掲載されました。その中に私の名前が載っているということを剣道仲間から知らされ、大変驚きました。

海外剣道事情の一例として、エクアドルの剣道普及におけるベナビデス氏と私の関係を通して、外国の方がどのように剣道を捉え期待しているかをご紹介します。

私は、1997年に南米エクアドルの首都にあるキト日本人学校に教師として赴任しました。エクアドルはスペイン語で赤道を意味し、キト日本人学校はまさに赤道直下で標高が2,850メートル。空気が薄く、暮らし始めの頃はすぐに息切れがしましたが、平均気温は13~14度と「永遠の春」と呼ばれる地でもあります。

キト日本人学校は、児童生徒数が20名足らずの小規模の小中学校でした。当時は、エクアドル全体でも邦人数は200名ほどだったと記憶しています。年に一度の学習発表会(文化祭)では、学校に関係する方々を大勢お招きして、日本の文化に係る内容を発表しました。その一環として、私は剣道を児童生徒に剣道の稽古や日本剣道形を披露しました。更に、インターナショナルスクールや現地の学校との国際交流を行う機会をつくり、エクアドルの子どもたちに素振りの仕方や実際に防具をつけて打たせたりして、関心を高めることにしました。

1999年7月21日に4人のエクアドルの方が剣道を教えてほしいと突然日本人学校に私を訪ねてきました。その中の一人がベナビデス氏です。彼らは空手道を学んでいましたが、新渡戸稲造著、「武士道」(英語訳)を愛読し、日本独特のものの見方や考え方を身に付けたいと願っていました。空手の先生は日本人ではなく、空手の用語や格言などなかなか解釈ができない部分があったのと、もともと剣道に興味があり学びたいと考えていたところに、剣道を教えてくれる人が日本人学校に来ていることを懇意にしている日本人から聞いて訪問したということでした。話をすると、剣道をスポーツとしての捉え方でなく、道に通じる教えとして学びたいという情熱が伝わってきて、意欲が多分に感じられたので、週2回、日本人学校の体育館で夜2時間ほど教えることにしました。日本人会会員で、サントドミンゴという地でアバカの栽培やマカデミアナッツなど多角経営を行っていた工藤元秀氏とも親しくしていただきました。工藤氏は日本で4段を取得し、その後エクアドルに渡り、プランテーション農園で成功した人です。60歳を過ぎ長年剣道から遠ざかっていましたが、一緒に稽古をすることになりました。

このようにスタートしたエクアドルでの剣道は、「剣道修身会」と名乗ることを決め、次第に仲間も増えて30名を超える方々が稽古に来るようになりました。彼らは剣道を真剣に学び、日本の文化をよく勉強してくれました。また、礼儀正しさは日本人以上で、毎回真面目に通ってくるので、私も剣道の良さをしっかりと伝えたい思いに駆られて一緒に楽しく稽古に勤しみました。この間、キトの中心部にあるピチンチャ山が噴火したり、全国的なストや暴動が起きたりしたこともあり、私は3年の任期を1年延長しました。よって1年半ほど剣道教室は続き、工藤氏や同僚教員に「剣道修身会」の存続をお願いするとともに、エクアドルにもっと剣道を広めることをベナビデス氏に託して、私は2001年3月に帰国しました。

その後、ベナビデス氏は全日本剣道連盟の黒田有伸先生からアドバイスを得て、エクアドル剣道連盟を立ち上げ、ラテンアメリカ剣道連盟に所属するために様々な活動を開始しました。エクアドル剣道レポートを定期的に全日本剣道連盟に送るとともに、近隣諸国の剣道連盟に連絡を取り、セミナーや稽古会に積極的に参加し、国内での講習会を開くなどして剣道の良さを内外にアピールしました。またJICA(ジャイカ:国際協力機構)に



要請して、多くの剣道指導員を招聘しました。今もその取り組みは続いています。

このような努力を重ねてエクアドルはラテンアメリカ剣道連盟の一員となり、2010年に第1回ラテンアメリカ剣道選手権大会をキトで開催しました。その後、2012年に世界剣道連盟に加盟が認められ、2015年東京で行われた世界選手権に初めて参加するまでになりました。私も、2005年と2007年にキトを訪れ、たくさんの会員と稽古を行ない、旧交を温めました。今では7つの団体、300名を超える方々がエクアドル剣道連盟会員として剣道を学んでいます。

ベナビデス氏は武士道という日本の文化に魅了され、その神髄を極めたいという強い思いを持っていました。何の下地もないところに一から組織を立ち上げ、まとめていくには計り知れない労力があつたことと思います。その根底には、国を憂い、相手への礼儀や道徳心を醸成し国民の意識を高めて行きたいという願いが確かに込められていました。私財を投じエクアドルに剣道文化を根つかせることを自己の使命と心得、今もなお活動するベナビデス氏の功績が、旭日双光章受賞という荣誉に結び付いたのです。

私のまいた小さい種は、地球の裏側の土壌で根付き、枝葉を広げ、大輪の花を咲かせるようになりつつあります。「愛」を自らの手で育み、大輪の花を咲かせたエクアドルの剣道家たちは私のかけがえのない友となりました。また必ずエクアドルを訪れ、彼らと稽古をすることが私の一番の願いです。

跳んで埼玉剣

令和6年3月3日開催の第32回埼玉県高齢者剣道大会優勝者に感想をお聞きしました。

60歳以上～65歳未満の部



優勝 大澤 真一（大宮）

過去2回の出場は1回戦敗退。今回の優勝は率直に嬉しいです。家族の支えと大宮剣道連盟各先生方のご指導を仰ぎ稽古は充実し、それが結果に結びついたと感謝しています。

今後も感謝を忘れず生涯剣道を目指します。

65歳以上～70歳未満の部



優勝 中山 良彦（熊谷）

定年退職後、己の健康を思い34年ぶりに剣道を再開し、埼玉県高齢者剣道大会優勝を目標として掲げました。（現在4連覇中）

今は県北の剣友仲間と、週2回の稽古を楽しんで、幸福感に喜びを感じています。

70歳以上～75歳未満の部



優勝 立山 健治（朝霞）

70歳以上～75歳未満の部優勝は2度目となりますが、60歳以上～65歳未満の部、65歳以上～70歳未満の部でも優勝した記憶があり、全階層での優勝目指し今後とも稽古に励みます。

75歳以上の部



優勝 福田 健治（朝霞）

前回78歳、今回83歳で優勝！！至福の機会をあたえていただき有難うございます。

最近の稽古は、脳トレに大変良いのではないかと想い励んでいます。稽古で1本取っても取られても常に反省すること然り、攻めの入り方に課題はなかったか？左足、右足の動作は、基本の構えは、肘の使い方は上手くいったか等脳細胞に刺激を与え反省し次の稽古に備えています。

高齢になれば認知症は避けられませんが、稽古を生かし脳トレに励み少しでも認知症を迎え撃つ様に期待するのみです。

「生涯剣道人を訪ねて」

剣道教士七段 渋谷 忠幸先生

Q 1 先生お幾つになられますか。

今年6月30日で83歳になります。

Q 2 いつ頃、何歳から剣道を始められましたか。

昭和35年大学に入学した19歳から始めました。大学を卒業しただけでは歯科医師としてそれなりの仕事はできません。歯科医療に専念するため剣道は学生時代だけで止めることにしました。6年間（在学中で4段をとることができましたし、東都学生剣道大会に個人戦で優勝しましたので、剣道を止めることに未練はありませんでした。

しかし、中年になると学生の時54Kgだった体重が72Kgにもなり、運動の必要性を感じるようになりました。ある日、ある道場で剣道の稽古を見ましたが、学生時代に味わった感動は湧いてきませんでした。ところが、稽古が終わり面を取った人の中に白髪の老人の姿を目のあたりにして、私の剣道への情熱が一気に燃え上がりました。剣道を中断して約17年経った42歳からの再開です。

Q 3 剣道を始めたきっかけは何ですか。

東京歯科大学（母校）の剣道師範が養父、養父の勧めで始めました。

Q 4 剣道を長年続けられている秘訣は何ですか。

学生時代は試合に勝つだけの剣道でしたが、今は剣道の魅力、究極の一本を目指すことに心を奪われています。

長く続けてきたもう一つは、子供に剣道を教える補助者から責任ある立場になってしまったからです。剣道指導は大変難しく、未だ卒業できません。

Q 5 稽古は週何日くらいされていますか。

週4日。火曜日、木曜日は上尾警察署、土曜日日曜日は平方剣友会で稽古しています。

Q 6 稽古で気を付けておられることは何ですか。

怪我をしないよう気を付けています。それには普段多少体を鍛える（？）ため、週2日に1回以上25分から30分のジョギングをしています。また、素振りはほぼ毎日します。

Q 7 今まで剣道の関わりの中でよい思い出は何ですか。

子供の成長していく姿を見ることがです。教えたことをすぐ覚える優等生、礼法・作法をいくら教えてもできない指導者泣かせの子など、いろいろな子供がいます。中には幼稚園で園崩壊、学校に行けばクラス崩壊を引き起こすような立役者もいます。この子が中学生になる頃には剣道教室で1番強くなり、礼儀作法は人から褒められるほど変身するのですから驚きです。

Q 8 好きな言葉好きな食べ物は何かですか。

「誠意」私利私欲や、よこしまな考えを捨てて、正直にまじめに物事に対処する気持ちを大切にしています。

好きな食べ物は、自分の体が「にわとり」になるのではないかとと思うほど、鶏肉が好きです。



有難うございました。

※今回は、あらかじめ質問内容を送らせていただき、その質問に答えていただきました。

令和6年大会記録（1月～6月）

—全国大会—

○第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会(R6.4.29)

準優勝 埼玉県
先鋒 小林 洸太

次鋒 岸 愛斗
5将 泉 英太
中堅 貝塚 脩悟
3将 八木 翔太
副将 竹越 充
大将 菊地 博之

—関東大会—

第72回関東高等学校剣道大会

・男子個人
第3位 丸山 直輝(埼玉栄高)

—全国大会予選—

○第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選(R6.2.23)

先鋒 小林 洸太(城北埼玉高)
次鋒 岸 愛斗(大学)

5将 泉 英太(北本)
中堅 貝塚 脩悟(高校)
3将 八木 翔太(警察)
副将 竹越 充(川口)
大将 井口 清(飯能)

○第36回ねりんピック予選
(R 6.4.6)
先鋒 柿沼日出美(熊谷)
次鋒 若林 義男(所沢)
中堅 小島 光正(秩父)
副将 大久保道夫(東松山)
大将 甲村 龍彦(北本)

○第16回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選
(R 6.4.6)
先鋒 樋口優衣奈(星野高)
次鋒 小川 真英(越谷)
五将 中村 日南(東松山)
中堅 志藤 綾子(東松山)
三将 渡曾 愛梨(高校)
副将 村山 千夏(警察)
大将 大坪 園江(警察)

○令和6年度全国教職員剣道大会予選(R 6.5.25)
・団体
先鋒 貝塚 脩悟(城北埼玉中高)
次鋒 佐々木優人(立教大学)
中堅 永野 雅大(不動岡高)
副将 齊藤 洋平(熊谷高定)
大将 津坂 宗秀(与野高)
・個人
男子 貝塚 脩悟(城北埼玉中高)
女子 大場 千恵(栗橋北彩高)

○第78回国民スポーツ大会成年の部予選(R 6.6.1)
・男子団体
先鋒 貝塚 脩悟(高校)
次鋒 野稲 陸(警察)
中堅 平野伸一郎(警察)
副将 菊地 博之(警察)
大将 菊地 道隆(高校)
・女子団体
先鋒 小川梨々香(東松山)
中堅 志藤 綾子(東松山)
大将 村山 千夏(警察)

○インターハイ予選・個人
(R 6.5.31)
・男子個人
1位 神岡 恵翔(川口北)
2位 熊田 圭佑(城北埼玉)
・女子個人
1位 中村 陽向(本庄第一)
2位 吉田 華(山村学園)

○インターハイ予選・団体
(R 6.6.17-18)
・男子団体
1位 城北埼玉
・女子団体
1位 本庄第一

—県内大会—

○第32回埼玉剣高齢者剣道大会
(R 6.3.3)

・75歳以上の部
1位 福田 健司(入間)
2位 筑井 祥二(深谷)
3位 宅島 正晴(浦和)
3位 磯部 孝夫(飯能)

・70歳以上～75歳未満の部
1位 立山 健治(朝霞)
2位 根岸 正樹(本庄)
3位 甲村 龍彦(北本)
3位 島村 勉(羽生)

・65歳以上～70歳未満の部
1位 中山 良彦(熊谷)
2位 佐々木 幸(羽生)
3位 伊藤 誠(狭山)
3位 上村紳一郎(朝霞)

・60歳以上～65歳未満の部
1位 大澤 真一(大宮)
2位 奈良 利昭(朝霞)
3位 北島 義久(草加)
3位 弦巻 裕之(大宮)

○第33回埼玉剣高齢者剣道大会
(R 6.5.25)

・75歳以上の部
1位 立山 健治(朝霞)
2位 兼高 均(春日部)
3位 渡辺 秀男(東松山)
3位 筑井 祥二(深谷)

・70歳以上～75歳未満の部
1位 半田 栄一(鴻巣)
2位 大塚 昌弘(行田)
3位 進藤 勝(加須)
3位 川上 満(杉戸)

・65歳以上～70歳未満の部
1位 荒川 良一(入間)
2位 中山 良彦(熊谷)
3位 小島 一祐(朝霞)
3位 永井 隆秀(大宮)

・60歳以上～65歳未満の部
1位 篠崎 仁志(東松山)
2位 産賀 崇由(入間)
3位 田中 明夫(草加)
3位 奈良 利昭(朝霞)

○第72回関東高等学校剣道大会予選(R 6.5.2)

・男子個人
1位 寺井 輝(山村学園)
2位 丸山 直樹(埼玉栄)
3位 大島 吾太(山村学園)
3位 熊田 圭佑(城北埼玉)

・女子個人
1位 樋口優衣奈(星野)
2位 中村 陽向(本庄第一)
3位 柳 瑠里(淑徳与野)
3位 美濃島ゆうな(淑徳与野)

上位4人が関東大会出場
(R 6.5.14)

・男子団体
1位 本庄第一
2位 埼玉栄
3位 山村学園

3位 浦和
5位 城北埼玉
5位 川口北
5位 川越

・女子団体
1位 淑徳与野
2位 星野
3位 本庄第一
3位 昌平
5位 東京農大三
5位 川口市立
5位 深谷第一

上位7校が関東大会出場

○第12回埼玉県杖道大会
(R 6.6.16)

・基本の部
1位 名雪かずみ(久喜杖道会)
2位 岡見 毅彦(彩杖会)
3位 横森 昭代(浦和杖道会)
3位 柿沼 香(久喜杖道会)

・初段の部
1位 若林 幸子(久喜杖道会)
2位 村田美香子(久喜杖道会)
3位 横森 紗名(浦和杖道会)
3位 菊池万喜子(大宮武林会)

・二段の部
1位 内野 寛俊(浦和杖道会)
2位 佐藤 陽子(所沢杖友会)
3位 蛭川 純子(武南杖道会)

・三段の部
1位 井原美由紀(久喜杖道会)
2位 加藤 李夢(久喜杖道会)
3位 戸村 修(大宮武林会)
3位 坂口 昌章(武南杖道会)

・四段の部
1位 中島佑規子(久喜杖道会)
2位 三角 幸生(彩杖会)
3位 飯田 篤功(彩杖会)
3位 平沼みちる(浦和杖道会)

・五段の部
1位 畑山 良一(大宮杖道会)
2位 杉崎かずみ(久喜杖道会)
3位 江口佳寿美(久喜杖道会)
3位 落合 克己(武南杖道会)

・団体戦
1位 彩杖会
2位 武南杖道会
3位 埼玉杖神会
3位 浦和杖道会

○第12回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(R 6.7.13)
1位 今濱夕輝乃(越谷)
2位 梅木 涼太(川越)
3位 小林 陽菜(北本)
3位 岡谷 尊(北本)
5位 関根剛士朗(北本)
6位 中西 将大(越谷)
7位 桐生 貴将(加須)
7位 大泉 空志(北本)

上位5名が全国大会出場

○第54回埼玉県居合道大会
(R 6.7.15)

・初段
1位 宮崎 陽平(大宮)

2位 出川 裕生(越谷)
3位 西内 勇貴(所沢)
3位 大家多夢斗(高校)

・二段
1位 濱口 直也(上尾)
2位 フリアンハートリック(杉戸)
3位 浦和 蓮人(高校)
3位 柳沢 俊男(東入間)

・三段
1位 西田 笙玄(浦和)
2位 関 仁平(浦和)
3位 小松 麻衣(杉戸)
3位 前山 明輝(浦和)

・四段
1位 都丸 琳子(浦和)
2位 平田 碧(飯能)
3位 松崎 隆文(所沢)
3位 佐藤 豪(草加)

・五段
1位 山下 夏実(浦和)
2位 森本 千晴(飯能)
3位 大滝 成(浦和)
3位 岡江 早月(大宮)

・六段
1位 山口日出夫(草加)
2位 玉手 博子(杉戸)
3位 松本真之介(浦和)
3位 須長 昇一(大宮)

・七段
1位 青木 四郎(久喜)
2位 武藤 幸枝(所沢)
3位 清水 芳明(大宮)
3位 大森健一郎(大宮)

○令和6年第72回埼玉県学校総合体育大会(中学校剣道の部)兼全国・関東大会予選会(R 6.7.22)

・男子団体
1位 川口北 ◎○
2位 本庄第一 ○
3位 朝霞第二 ○
3位 春日部大沼 ○
5位 北本 ○
5位 城北埼玉 ○

・女子団体
1位 春日部大沼◎○
2位 朝霞第二 ○
3位 深谷幡羅 ○
3位 本庄第一 ○
5位 川越大東 ○
5位 宮代百間 ○

(R 6.7.23)

・男子個人
1位 原 啓大(城北埼玉)◎○
2位 石井 楷人(北本)◎○
3位 熊谷 元気(北本) ○
3位 浅野 宝仁(北本) ○

・女子個人
1位 貝山 紗彩(春日部大沼)◎○
2位 小林 希寧(宮代百間)◎○
3位 北村 美緑(深谷幡羅) ○
3位 川上 裕奈(春日部大沼) ○

◎：全国出場 ○：関東出場

称号・段位取得者一覧 (令和6年1月～6月)

剣道

令和6年2月17日

長野 七段

河端 宏司(吉川)
澁江やよい(越谷)
五十嵐 治(越谷)
澤島 賢一(春日部)
菅原 勉(行田)
市村 政広(狭山)
山内 康弘(飯能)
木村 健(朝霞)
島田 高志(鴻巣)
丹治喜代美(北本)
鈴木 徳昭(熊谷)
後 雄士(高校)
大坪 園江(警察)

令和6年2月18日

長野 六段

渡邊 淳子(吉川)
前田 恭佑(春日部)
佐藤 大喜(久喜)
堀 宏次(所沢)
神尾あきの(西入間)
山本 芳樹(蕨)
野口 勝敏(浦和)
齊藤 達郎(大宮)
浅見 武司(寄居)
大橋 剛男(高校)
上野 翔大(高校)

令和6年4月29日

京都 六段

植田 國弘(飯能)
神田 和宏(東松山)
須永 雄也(川口)
田中 眞一(戸田)
小池 泰三(上尾)
堀込 大海(鴻巣)

令和6年4月30日

京都 七段

前田幸太郎(久喜)
筒井 修二(所沢)
吉田 勉(入間)
佐々木峻輔(川越)
浅田 貴司(川越)
山崎 利男(浦和)

令和6年5月6日

京都 錬士

永島 二男(草加)
浦木祐一郎(吉川)
川崎 和子(越谷)
草深 千春(越谷)
三木 秀人(春日部)
古川 博之(久喜)
峰岸 英貴(幸手)
倉本 幸介(幸手)
丸山 陸(川越)

笠原 明子(川越)
山内 聡(川越)
森田 庸一(川越)
松澤 公明(川越)
赤澤 豊彦(川越)
高橋 伸彰(川口)
渡邊 直美(朝霞)
中山 陽輔(浦和)
小林 弥(浦和)
天野 武志(浦和)
野口 利明(浦和)
染谷 雅敬(大宮)
関口 達也(上尾)
土井 一朗(上尾)
塚本 学(鴻巣)
川上 宗真(北本)
小河 浩(秩父)
中村 英之(秩父)
藤森 祐一(高校)
松崎 慶喜(高校)
山口 雅之(高校)
阿部 晋也(警察)
守田 直人(警察)
高橋 昌士(警察)
佐藤陽一郎(警察)
中村 志保(警察)
志田 均(警察)
高橋佳菜子(警察)

令和6年5月6日

京都 教士

中西 直子(越谷)
柴久喜 均(越谷)
池田 省吾(越谷)
松村 哲延(越谷)
渡邊 秀樹(越谷)
古谷 勇一(久喜)
中澤 保雄(狭山)
梶原 道德(狭山)
志村 勝(東入間)
白井 崇(西入間)
青木サク子(東松山)

原田 譲治(川口)
黒澤 学(戸田)
青木 暢之(朝霞)
田中 智也(朝霞)
細田 哲(大宮)
山崎 和久(大宮)
小林 芳弘(上尾)
岩田 香織(熊谷)
廣澤 勝則(本庄)
三友 基雄(本庄)
山本 隆浩(高校)
染葉 幸枝(高校)

令和6年5月6日

京都 範士

大澤 規男(行田)

令和6年5月11日

愛知 七段

八代 英紀(吉川)
野本 直基(所沢)
野澤 喜一(所沢)
宮崎 豊士(狭山)
末武 秀尉(川越)
鈴木 健司(飯能)
翠川 洋平(川口)
芳賀 信彰(川口)
浅岡 雄一(朝霞)
宮下 克己(鴻巣)
金子 宏(北本)
須田 勉(深谷)
竹内 佑樹(高校)
猪鼻 健(高校)

令和6年5月12日

愛知 六段

渡辺 祐治(八潮)
清水 美砂(春日部)
辻野 学(杉戸)
内田 武(久喜)
渡辺 半(久喜)
土屋 明子(所沢)
関根 治(所沢)
阿部千鶴子(川越)
大竹 重晴(川口)
山本 相子(川口)
藤田 識雄(浦和)
越田 純也(浦和)
齋田 求(浦和)
平野 宜男(大宮)
長田 裕暉(鴻巣)
加藤千鶴子(鴻巣)
黒澤 大輔(熊谷)
小口 香織(高校)

令和6年5月19日

北海道 六段

橋本 信之(戸田)

令和6年3月10日(日)

五段

今泉 正之(草加)
石川 雄三(越谷)
木原 臣一(越谷)
天田 穰(杉戸)
長谷川光二(所沢)
佐野比路志(狭山)
木村 絢乃(川越)
瀬田 裕士(川越)
浅見 一朗(川口)
池上 好江(戸田)
藤井 宏太(戸田)
岩瀬 将輝(浦和)
松坂 工(浦和)
石川 和巳(浦和)
渡邊 順迎(浦和)
武笠 良司(浦和)

齊藤 大介(浦和)
三友 邦昭(大宮)
村田 容子(大宮)
亀田 亮次(上尾)
出淵 晋也(上尾)
椎名 是文(上尾)
佐藤 愛美(熊谷)
細見 俊明(深谷)
谷岡 将平(警察)
中西 康博(警察)
長谷川佑久(高校)

令和6年3月10日

四段

丹治 智聖(草加)
岡 将太郎(越谷)
岡本 錬真(越谷)
松井 堅心(越谷)
浅崎 伶王(越谷)
東 路夫(越谷)
梅北 稜司(越谷)
今井 大祐(吉川)
入内島康平(吉川)
野内 津義(吉川)
岡本 憲嗣(東入間)
佐藤 伸幸(東入間)
永野 江里(川越)
山下 明莉(川越)
堀内 真央(川越)
齋藤 一輝(川越)
梅澤 悠吾(飯能)
松本 竹吾(西入間)
西田 瞳(小川)
島田真菜美(小川)
遠藤久美子(川口)
佐土原広也(川口)
大西 航平(川口)
栃本 宜寿(蕨)
本田 開聖(蕨)
橋崎 弘之(戸田)
横井 隆広(朝霞)
横内由紀則(朝霞)
灰毛 義男(朝霞)
荒木 千葵(朝霞)
葛西 祐規(浦和)
吉田 啓(浦和)
宮前 亮(浦和)
宮田 昭(浦和)
青鹿叡一郎(浦和)
齊藤 祐之(浦和)
菊地 千尋(大宮)
小堀 颯太(大宮)
神永 隆(大宮)
辛島 史将(大宮)
増山 武治(大宮)
野崎 拓也(大宮)
関根 弘晟(上尾)
金谷 敬(上尾)
久保 博司(熊谷)
田村 茂(熊谷)

石川 慶信(深谷)
小林千鶴子(本庄)
大熊 彩喬(本庄)
半田 凱(秩父)
荒井 大成(警察)
山本さくら(警察)
大熊 怜希(警察)
安藤 万由(高校)
武井 政聡(高校)
手塚 陽菜(大学)
小林 暖奈(大学)
大久保和彦(大学)
福田 圭佑(大学)

居合道

令和6年5月3日

京都 錬士

黒瀬 茂雄

令和6年4月14日

五段

小林 敏浩(蕨)
新里 久登(東入間)
宮川 初弘(飯能)
吉村 昌治(秩父)

令和6年4月14日

四段

佐藤 凜(草加)
白石 紗彩(杉戸)
有安 浩平(浦和)
永廣 幸嗣(所沢)
河野 隼人(鴻巣)
江森 哲(鴻巣)
野崎 勝(久喜)

杖道

令和6年3月8日

東京 六段

木村 たか子
杉崎 利春

令和6年3月8日

東京 七段

野口 京子

令和6年3月17日

五段

尾崎 福次

令和6年3月17日

四段

高橋 幸一
逢坂 まみえ

令和6年5月3日

京都 八段

松本 保典

編集後記

連日続く猛暑、酷暑の中、電車に乗る。座席に座っていた外国人旅行者が、私を見るなり「どうぞ」と席を譲ってくれる行動を起こした。「ありがとう、でも結構ですよ」と返事した。相手を思いやる心を持った外国人に接し、薄れている日本人の良さを外国人に教えられた気がする。「良い旅を」のこたばをかけ電車を降りました。(佐藤義則)